

ふるさとふちゅう

再発見

【第47回】 府中が農村だったころ（7） 青崎新開（1）

青崎という地名は府中町と広島市南区にあり混同している人もいます。この両地区は江戸時代に土砂が堆積した府中大川を掘り浚えその土砂を干潟であった青崎に運んで埋め立てた青崎新開です。現在、青崎が付く地名は府中町青崎南、青崎東、青崎中と広島市南区青崎1丁目・2丁目及び東青崎町です。青崎新開は、このうち府中町青崎東を除いた平地部分です。江戸時代の仁保島は現在の仁保・向洋・青崎を含んだ広い村で、府中村と共に安芸郡に属していました。府中・仁保島の間に広がる干潟の干拓工事は藩から安芸郡役所に命じられ、完成後は府中村分と仁保島分に分割され、府中村はそのまま府中町の地名となります。仁保島は、仁保島村、仁保村となり昭和4（1929）年に広島市と合併し、広島市南区の地名となっているのです。



色塗りが濃い区域が青崎新開
※2018年の航空写真と府中村絵図を照らし合わせたイメージ図

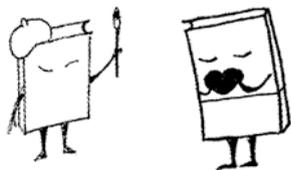
菅 信博

に人数を決め、多数の人たちが駆り出されました。安永4（1775）年8月には安芸郡役所は安芸郡割庄屋であった畑賀村勘兵衛と江田島村仁蔵に、工事のために直接現地への出張を命じています（『安芸府中町史第2巻』）。また渡子島・吉浦・庄山田（すべて現呉市）など8か村の庄屋や坂村・瀬戸島の与頭も出張しています。工事に必要な木材は江田島・渡子島（現呉市首戸町）の藩有の御建山の木材を伐採し、運ばせています。安芸郡を挙げての大事業だったのです。

図書館からの 今月読むならコレ！

町立図書館 ☎286-3405

図書館職員が
選んだおすすめ
図書を紹介



午前7時の朝ごはん研究所 小田真規子/著 ポプラ社/出版

朝ごはんでは補うべき水分、やさしさ、エネルギー、体温、栄養をグラフで表示したレシピを紹介。簡単なレシピで、頭も体もシャッキリと元気な一日を始められます。



たい焼き総選挙 新井けいこ/作 あかね書房/出版

小学生の拓都は、たい焼きが大好き。商店街のたい焼き屋さんがピンチだと知り、同級生たちと一緒にお店の売り上げをのばすため、新しいメニューを考えるが…。

小学生たちがお店を応援するために努力する姿を通して、仕事に向き合う大切さを教えてくれる物語です。

12月の 休日診療当番医



- 12月1日(日) なんば内科クリニック(内科・呼吸器科) 本町2-5-13 ☎282-4511
 - 12月8日(日) こさか内科(内科) 青崎東20-2 ☎281-4482
 - 12月15日(日) 永田内科医院(内科・呼吸器科・循環器科・消化器科) 青崎中24-26 2階 ☎285-0808
 - 12月22日(日) 瀬戸ハイム内科(内科) 瀬戸ハイム1-2-24 ☎285-0816
 - 1月12日(日) 益田眼科(眼科) 大須1-16-2 ☎282-5058
 - 1月13日(月祝) 前野医院(内科、呼吸器内科、感染症内科) 石井城2-10-20 ☎281-2334
- ※年末年始(12月29日～1月5日)の休日診療当番医については6ページをご覧ください。



府中町LINE公式アカウント 友だち募集中！



友だち追加で、
毎月1日に
広報ふちゅう
もお届け！